

# 横浜 アクションアワード

若者と地域団体の  
パートナーシップ活動を  
表彰する



YOKOHAMA  
ACTION  
AWARD



若者×地域で描く未来!!



地域の未来を創る活動は、  
「あなたの力」で飛躍する！

横浜アクションアワード2022

実施報告書



## 横浜アクションアワードとは

横浜アクションアワードは、若者と地域のNPOや団体がパートナーシップを組んで活動している事例を、多くの人に知ってもらい、それを広げていくためのアワードです。

 発信する	 つながる	 未来へつなぐ
学生と地域の連携による活動の魅力や意識、そして課題を発信していきます。	参加者団体同士、団体と参加者、いろんな人がつながり合う場を運営します。	この場での出会いが活動を次のステージへ。未来へとバトンをつないでいきます。



### 応募資格

- ・横浜市及び近隣の活動であること
- ・30歳以下の若者グループ・個人であること
- ・若者と地域コミュニティの連携事例であること
- ・地域活性化や社会性の高い活動であること
- ・2021年度に実施している活動、及び2022年度に実施予定の活動

### 【賞および副賞】

- ・大賞
  - ▼二次審査員+会場、オンライン参加者の審査で最も得点の高かった団体
  - 副賞：賞金1万円+団体の課題をAPYが伴走支援
- ・協賛賞
  - ▼二次審査員+会場、オンライン参加者の審査で大賞の次に得点の高かった団体
  - 副賞：クオカード
- ・会場賞
  - ▼ドネーション人数が最も多かった団体
  - 副賞：クオカード

# 結果発表

どの団体の発表も素晴らしく、審査員による審議は時間ギリギリまで行われました。  
受賞したかどうかに関わらず、団体の皆さんに大きな拍手と声援が送られる時間になりました。

## サコラボ

×

## NPO法人オールさこんやま



サコラボ  
落合佑飛さん

コロナで制約も多い中、  
どうしたら楽しく活動ができるのか工夫をしてきた1年でした。  
私たちの頑張りが伝わり嬉しかったです！



NPO法人オールさこんやま  
矢野森稔さん

サコラボの学生は良き地域の架け橋となっている、  
本当に良い光景。  
これからも共に左近山地域を盛り上げていけたらと思います。

## 学生団体Lucharis

×

## コカ・コーラボトラーズジャパン 横浜支店ほか



学生団体Lucharis  
石垣琉香さん

これからのビジョンについて絵に描いた餅で終わらせるのではなく  
しっかり実現させていきたい。  
来年も良い報告ができるように頑張ります！



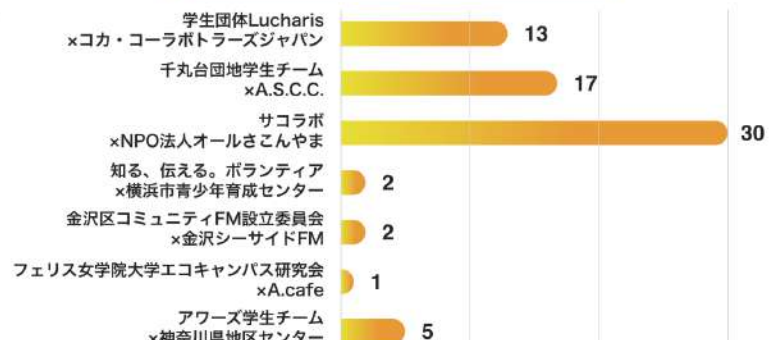
コカ・コーラボトラーズジャパン横浜支店  
山本剛さん

Lucharisと一緒に、新しく、楽しくて、  
継続的に出来る社会貢献活動を実現していきたいです！  
そしてその輪が広がれば最高ですね！！

## サポートメニュー

内容	対象
石井造園CSR報告会にて 3万円贈呈	大賞受賞団体
タウンニュースに 団体情報を掲載	協賛賞受賞団体
関東学院六浦高校の 総合学習の授業にて登壇	会場賞受賞団体

## ドネーション結果



# ① 動画講座

プレゼンテーションに向け、団体の魅力を効果的に伝えられるような動画作りを学び、作成した動画を広く様々な方に見てもらおうことで、団体の広報や活動自体のブランドの底上げにもつなげることを目的に開催しました。

開催日時：①11月26日（金）②12月18日（土） 20:00～21:30

会場：オンライン開催

## 1回目

講師として藤川遼介氏（株式会社APITEC）をお招きし、動画作成の基礎や構成作りを学びました。

3分間の動画作成に向け、ポイントとなる点やYouTube撮影時の注意点などを教えていただきました。



藤川遼介氏  
株式会社APITEC

人を敬い、誠実な行動を心がける。

当たり前のことを当たり前にならすことほど、ありがたく難しいことはありません。これからも大志を抱き、楽しみながら才能を伸ばし、素養を磨いてください。



## 2回目

動画作成の進捗報告やアイデア交換を行いました。

「実際に何のソフトやアプリを使って編集していますか？」など、学生同士で活発な意見交換も！

～動画講座を経て～

制作期間約1ヶ月、初めて動画を作るという学生が多かった中、どの団体もクオリティの高い動画に仕上がりました。

「大変だったけど、活動を振り返りアウトプットする良い機会になった」「今後、PR動画としても使っていきたい」といった学生の声も。



7団体の動画はこちらからご覧ください！

## 学生団体図録

アワードの準備をするにあたって出会った、魅力的な活動をしている横浜の学生団体を収録した「学生団体図録」を作成しました。エントリー団体はもちろんのこと、その他にも横浜というまちを共に生きている様々な団体をより多くの人に知ってもらいたい、応援したいという思いから生まれました。



団体色溢れる個性豊かな図録が完成しました。



二次審査会場にてパネル展示の上、冊子としても参加者に配布しました

## ②一次オンライン審査

一次オンライン審査ではエントリーシートを用いたプレゼン審査をした後、審査員と学生団体に分かれて2次審査発表のブラッシュアップを目指す交流会を開催しました。

開催日時：1月15日（土） 14:00～16:30

会場：オンライン開催（参加団体・審査員・関係者のみでのクローズ開催）

### プログラム

- 14:00～ プレゼンテーション審査
- 15:00～ ブラッシュアップ交流会
- 15:40～ コメントタイム
- 16:00～ 交流タイム



一次審査員は企業・行政・大学・地域団体...様々なまちのプレイヤーの方に、意見交換時のファシリテータはAPY卒業生の皆さんに務めていただきました！

### 一次審査員の皆様



神奈川県共同募金会  
中島孝夫さん



ヤマト福祉財団  
望月広昭さん



NPO法人ESUNE  
宮地珠妃さん



洋光台地域ケアプラザ  
澁谷菜さん



水戸市職員  
平野孝典さん(APY卒業生)



SOMPOケア株式会社  
沼倉ゆきえさん

学生ならではの視点やアイデアがたくさん詰まっていて、新たな気づきや発見をさせてもらえる発表でした。皆さんの熱い思いに私自身も刺激を受けました。



産業能率大学准教授  
橋本諒さん

身の回りのことから問題意識を持ち、取り組まれているのが印象的でした。街にとっての本質的な課題への取り組みだと思いますので、引き続きの活動を期待しています。

### ファシリテータの皆様

ブラッシュアップ交流会ではファシリテータに学生団体OBの社会人が参加し、意見交換を盛り上げてくれました。

- 永井亮さん 森桃子さん 有見亜佐士さん 長浜宏海さん 樋口智大さん 山岡博樹さん 勝尾桃花さん

## ③二次審査公開プレゼンテーション審査

開催日時：2月26日（土） 13:00～17:00

会場：横浜市役所一階アトリウム&YouTube配信

参加者数：100名（会場20名、発表団体 33名、審査員8名、スタッフ24名、オンライン15名）

### プログラム

13:00～ プレゼンテーション審査

15:00～ ドネーション交流会

16:10～ 審査結果発表

16:30～ 交流タイム

### 審査基準

ビジョン性	活動を通じて目指したい社会像が明確か
継続性	継続可能な活動計画、運営体制が明確か
チャレンジ性	これまでにとらわれず、活動に新たなチャレンジがあるか
パートナーシップ性	参加若者同士、若者と地域で良い関係性が築けているか
波及性	活動が単発で終わるものではなく、地域に波及していくものであるか
若者らしさ	若者ならではの活動、独創性などがあるか

## ①プレゼンテーション審査

1団体7分のプレゼンテーションののちに、審査員からの質疑を行いました。

発表に関しては学生だけでなく、地域パートナーの方にも参加いただき、双方から活動について話をしてもらいました。

審査は審査員と、会場とオンラインの一般観覧者に行って頂きました。



### 関係者・参加者の声



知る、伝える。ボランティア  
乙川彩華さん

アワードを通じて多くの方に自団体について知っていただけたと感じます。  
他団体の方と交流する機会も多く活動における  
互いの悩みや課題を共有できたことも嬉しかったです。  
アワードの準備で制作した動画や資料も今後の活動に活かしていきたいと思います。

横浜地域をより良くしようという思いを持った多世代にお会いでき  
お互いの力を合わせて今後も活動していきたい！という思いから  
他団体の方とコラボした活動を考案中です！



フェリス学院大学エコキャンパス研究会  
小野莉愛さん

## ②ドネーション交流会

参加者が団体と直接交流・応援できる、ドネーション交流会を行いました。

交流会ではドネーションカードを一般参加者にお配りし、団体に直接応援やコミュニケーション、寄付仕組みを設けました。



オンラインでも  
ご寄付頂きました！

## ③ヒーローインタビュー

ドネーション交流会と同時進行で、配信をご覧の方に向けてプレゼン団体にインタビューをし、発表をさせていただいたか、プレゼンに込めた思いなどをお聞きしました。



### 関係者・参加者の声



千丸台学生チーム  
桑田晶さん

大きな会場で発表するので緊張しましたが、自分たちの活動を様々な方々に知ってもらえることが出来て良かったです。同じ神奈川県内で活動してる団体の方々とも交流することが出来たので、今後につなげていきたいです。



アワーズ学生チーム  
池谷昌紀さん

二次審査はトップバッターの発表で緊張しましたが自分達の発表をあたたく聞いてもらえて良かったです。老若男女色々な方に参加してもらえる活動を続けて、今後も地域を楽しくしていきたいです。

# 今年度のエントリー団体

今年度は、コロナ禍でも  
オンライン等を駆使して連携し、  
活動を継続している  
魅力的な学生団体×地域コミュニティが  
7団体集まりました。

## フェリス学院大学エコキャンパス研究会 x A.cafe



地域・国際貢献に繋がるエコ活動。「大学生にもできる楽しいエコ活動」を目指して、話し合いから生まれた様々なアイデアを実現し、テーマの幅をマイボトル、地産地消、フェアトレード等にも広げ、地元の企業や行政とも連携して活動している。地域のお店のメニュー開発なども行っている。

地域のお店のメニュー開発なども行っている。

## 知る、伝える。ボランティア x 横浜市青少年育成センター



様々な地域団体取材し、noteにて発信することで地域や団体と繋がる活動を行っている。メンバーによって記事を書く視点も形式も異なるため、個性豊かな記事が出来上がる。他にも麦田町の朝市を盛り上げる活動など、プロジェクトごとの活動も行っている。

## 千丸台団地学生チーム x NPO法人A.S.C.C.



千丸台団地において大学生と子供たちが交流できる機会を作るため、有志による多様な学生により結成された団体。子供たちに学習支援をし、大学生と子供たちが関われる企画を考案している。団地に住む子供に限らず、すべての子供たちに学習支援やイベントを行っている。

## アワーズ学生チーム x 神奈川県地区センター



ほどがや市民活動センターアワーズにて、毎年12月に行われる。「ほどがやサンタプロジェクト」内の「おそうじサンタ」という地域の清掃活動のイベントを企画している。学生が中心となって楽しんで掃除ができるアイデアを形にしている。

## 金沢区コミュニティFM設立委員会 x 金沢シーサイドFM



関東学院大学伊藤ゼミメンバーが中心となり、横浜市金沢区にコミュニティFMというラジオ局を開局するために活動。金沢区の情報を継続的に伝えることで地域活性化に貢献している。今年度は金沢区並木二丁目に「人を繋ぎ、声をつなぎ、まちをつなぐ」というコンセプトのラジオ局が開局予定。

## サコラボ x NPO法人オールさこんやま



実際に居住している学生と通って活動する学生とで、左近山でまちづくりを行っている。色々な関わり方のメンバーがいることが活動に幅を持たせることに繋がっている。「顔の見える距離」を大切に活動を続けている。

## 学生団体Lucharis x コカ・コーラボトラーズジャパン横浜支店ほか



神奈川大学の学生が立ち上げた環境団体。ごみ問題をはじめとした様々な啓発活動を展開。「社会問題に対して本質を学び、行動に結び付けたい」をテーマに、イベント企画や広告デザイン、タウンクリーンアップからラジオ出演など学生から社会人まで幅広く学べる環境を作るため幅広く活動している。



## 二次審査員の皆さんより

### 石井 直樹氏 (石井造園株式会社)



継続して活動している団体の更なるブラッシュアップが見られたことに加え、新たな可能性を持った団体がチャレンジしてくれたことも今年の成果だと思います。コロナ禍でありながらどの団体も踏み込んだ活動ができていたことが素晴らしいです。これからもこの地域や活動を自分事として捉え、自分たちの責任で展開していこうという熱い気持ちを重ねながら、このステージを盛り上げていただきたいと思います。また、運営スタッフの皆さんの一人ひとりの活躍と役割が生きていた場であったと思います。皆さんが実践をもってまちに繰り出してきてくれること、また来年この場でお会いできることを楽しみにしています。

### 倉田 真希氏 (横浜市政策局男女共同参画推進課)



審査員として3年間アワードに関わらせていただき、とてもありがたく思っています。今回も、審査をすることが心苦しくなるくらい、1つ1つの団体が輝いていたと思います。学生時代に戻れるなら各団体の皆さんのところにメンバーとして参加させていただきたい、と思いながら聞いていました。地域で活動していること、それをこのような場で発表できたことだけで本当に素敵なことだと思います。同時に、この学生の皆さんが運営するアワードというイベント自体が素晴らしいなと感動しております。

### 小正 和彦氏 (横浜市立みなとみらい本町小学校)



この2年間、皆さんコロナにご苦労されている中で、今回の発表の中に「コロナでできなかった」という言葉が殆ど出てこなかったことが素晴らしいと思いました。むしろ、「コロナ禍であったけれどこれだけ出来た」ということを、皆さんの活動を通して聴けたことにパワーをもらいました。発表の中にSDGsの視点が出ていましたが、ユースの皆さんとコミュニティがコラボレーションしている姿というのは、これからの未来を作っていく姿だと思っています。

### 別田 果菜子氏 (横浜市社会福祉協議会・横浜市ボランティアセンター)



コロナ過という活動の制約がある中で大変だったことと思いますが、その中でも失敗を恐れずやっついこうという皆さんのお気持ちが素晴らしいと感じました。私も、ボランティアセンターとして日々地域の方々と関わる機会が多いですが、学生の皆さんも地域を支えてくださることが有難いことですし、横浜って良い街だなと思いました。

### 飯野 耀平氏 (タウンニュース社)



地域の中で活動されている皆さんは、本当に楽しくてその活動をしているのだなと発表を聴いていて感じました。地域活動は楽しくないと継続していくのが難しいと思います。活動を進めていく上で大変なことも多かったとは思いますが、楽しそうにやりがいを持って地域活動を実践されている皆さんの姿を見て元気を頂きました。私としては、皆さんの活動を記事にして広げていくことで、さらに地域が良くなればと考えています。

### 高校生 (関東学院六浦高等学校)



審査員2年目として今年も参加できたことに感謝しております。皆さんの活動が刺激的で、賞を受賞されたかどうかに関わらず、活動をしていること自体が素晴らしいことだと思います。私たちが春から大学生になります。今回発表された皆さんの視点などを勉強させていただき、活動を頑張っていきたいと思っています。

## 運営体制

- 主催  
NPO法人アクションポート横浜
- 後援  
社会福祉法人神奈川県共同募金会  
社会福祉法人横浜市社会福祉協議会  
横浜市政策局
- 助成  
一般財団法人 YS市庭コミュニティー財団
- ご協賛  
社会福祉法人神奈川県共同募金会  
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社  
SOMPOケア株式会社  
横浜中華街展覧会協同組合
- ご協力  
横浜高速鉄道株式会社



## 広報記録

- 1/27 タウンニュース中区・西区版
- 2/1～ みなとみらい線  
ホームドアサイネージに掲載
- 2/17 タウンニュース中区・西区版
- 2/26 ヨコハマ経済新聞
- 2/28 神奈川新聞
- 3/10 タウンニュース  
中区・西区版、旭区版



## 学生団体図録を作ってみよう！

～横浜には多様な学生団体があることを発見！～  
 8-9月に横浜地域にある学生団体・大学サークルを、  
 手分けして片っ端から調べメールを送るという作業からスタートしました。  
 エントリー募集前には応募説明会を実施。  
 しかし、コロナが少し落ち着いたことにより、  
 自分たちの活動に専念したいという団体もあり…  
 その中でアワードを実施する意義について考えさせられた  
 時期でもありましたが、  
 多様な団体と出会い、「横浜にこれだけの学生団体があるんだ！」  
 という発見にもつながりました。



アワードのイメージってなんだろう

皆さんの動画のクオリティ高くてびっくり！

## 学生チーム キックオフ

## 応募説明会

## エントリー

## 動画講座

集まらなかったらどうしよう…

色んな団体と初めての  
交流会にも楽しかった！

7団体も  
きてくれた！

オンラインでどうやって  
コミュニケーション取っていいか…

素敵なチラシができた！！

～形になることにわくわく～  
 アワードの広報に使ったチラシは、  
 つばめソリューション株式会社さんにご依頼をしました。  
 作成をする際、ぼんやりとしたアワードのイメージを  
 共有するところから始まりました。  
 初稿から何度も意見交換をし、修正して頂きました。  
 その過程でアワードを通じて伝えたいことについて  
 自分たちでも向き合うきっかけになりました。  
 12月から1ヶ月で、ついに現在の形に完成しました。  
 キャッチコピーの「若者×地域で描く未来」はここで誕生し、  
 アワードのイメージを固めることが出来、  
 とても素敵なチラシになったことが嬉しかったです。





本当にYouTubeで配信できるかな？

サインージュ掲載嬉しい！

### 当日スタッフで決起集会！

#### ～APYネットワークをフル活用した当日運営スタッフの心強さ！～

一次・二次審査の当日運営には、APYの卒業生・別のプロジェクトに関わっていた学生・YAP・大学の同級生など沢山の方にご協力頂くことが出来ました。多様なつながりのあるアクションポート横浜だからこそ実現したことだと誇りに思います。

今までアワードに関わってくれた人たちが対面で一堂に会しているのを目の当たりにして感動！

コロナ禍のため、運営準備のほとんどをオンライン上で行いました。9月頃から運営学生チームではZoomを使用したオンライン会議を週1回、団体の皆さんとは「Slack」というツールを使用して進捗共有をこまめに行っていました。2次審査の際、会場で対面で初めてお会いする方も多かったので、やっと会えた時は感動モノ(笑)オンラインで関係性の土台をつくっていたからこそ、さらに仲が深まった気がしました。

一次審査

前日

二次公開  
プレゼンテーション

今後

### 団体の魅力を引き出すの難しい.....けど面白い！

#### ～段階的なブラッシュアップで団体の魅力発見へ～

一次審査での審査員からのブラッシュアップ、その後の1団体ずつとのブラッシュアップ面談を経て、2次公開プレゼンテーションを迎えました。ブラッシュアップ面談では、「発表時間7分の中で何をアピールしたいか」「他団体にはない強みは何か」といった点を団体の皆さんと共に整理していく中で、エピソードやメンバーの思いなども聞き出すことができ、私たち自身も各団体の魅力を発見できた時間となりました。

ついに明日が本番。  
4人で前日に最終準備！

### この繋がりを深め広げたい！

今年度のアワードはコロナ禍でありながらも沢山の方の協力やアドバイスのお陰で沢山のつながりが生まれた実りあるものになりました。今回生まれたつながりを機に、さらに地域の交流を広げていきたいと考えています。まずはスポーツ大会だ！



同じ大学生が地域の発展や貢献、さらに問題解決に向けて実際に行動する姿勢に刺激をもらいました！二次審査という大きな舞台を裏でサポートすることができ、良い経験となりました。  
【2次審査当日スタッフ 神奈川大学4年生見啓介さん】



運営側の方や参加団体の皆様の熱意を感じられて、とてもエネルギーを貰えました!! 司会として、場を盛り上げることに貢献でき本当に貴重な経験をさせていただけたことに感謝です。  
【当日全体司会担当 青山学院大4年犬淵さくらさん】

## 企画メンバーより



鈴木香純

横浜の学生団体を知るところからアワードを作り上げるまで、各段階でたくさんの学びがありました。また、コロナ禍でも新たな繋がりが多く構築でき、とても貴重な経験になりました。



白井結芽

アワードは沢山の方々のご協力や支えがあって成り立つものだと実感しました。地域で活躍する皆さんとアワードを通じて出会えたことを嬉しく思います！



伊澤玲奈

イベントを一つ作り上げることの大変さ、同時にコロナ禍だからこそ意識して、人と出会い、繋がるのが重要だと改めて感じることができました。



細野瑞希

アワードを通じて沢山の仲間や経験を得ることが出来ました。ご協力頂いた皆様に感謝です。今後も横浜地域に沢山のつながりが生まれたらと思います。

発行：2022年4月 NPO法人アクションポート横浜



〒231-0023 横浜市中区山下町94番地 横浜中華街パーキング協同組合内

TEL:045-662-4395

URL:<https://actionport-yokohama.org/>

アクションポート横浜

検索



この報告書はYS市庭コミュニティ財団の支援により作成しました。